



平成30年 1 月31日

各 位

会 社 名 サノヤスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 上 田 孝
(コード番号 7022 東証第1部)
問合せ先 総務部長 田 代 昌 利
(電話番号 06-4803-6161)

子会社の設立及び会社分割（吸収分割）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成30年 4 月 2 日付で造船以外の事業（陸上事業及びレジャー事業）を統合する組織再編を行うとともに、同日付で統合後の造船以外の事業を統括・支援する子会社 1 社を新たに設立することを決議いたしました。併せて、平成30年 6 月22日開催予定の第 7 期定時株主総会において承認が得られることを条件として、当社を分割会社、当該新設会社を承継会社とする会社分割（以下「本会社分割」という。）を行い、当該新設会社に造船以外の事業を営む各連結子会社の株式を承継させることを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本会社分割は、完全子会社を対象とする会社分割であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

また、この組織再編に併せて、当社はガバナンス体制の見直しを行い、同じく第 7 期定時株主総会において承認が得られることを条件として、監査等委員会設置会社に移行することを決議いたしました。監査等委員会設置会社への移行につきましては、本日開示の「監査等委員会設置会社への移行及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

記

1. 目的

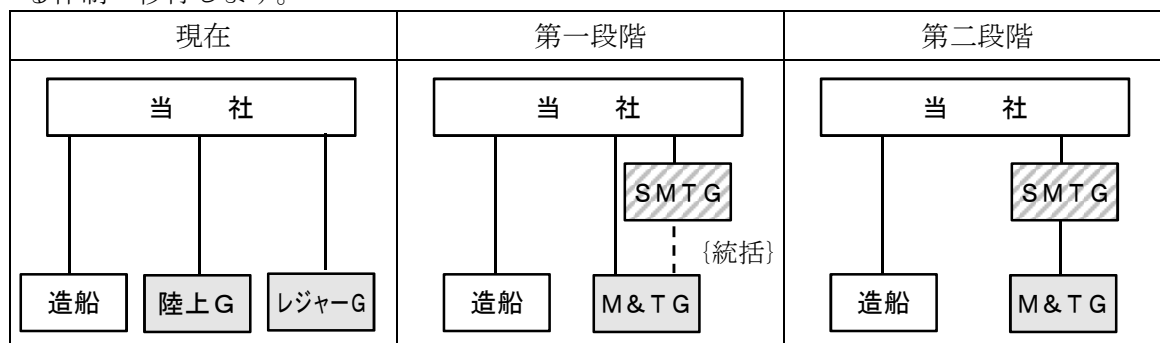
当社は、祖業である造船事業を“コアビジネス”とする一方、造船以外の事業を“第二のコアビジネス”と位置付け、事業の多角化に取り組んで参りましたが、海運・造船業はボラティリティが極めて高く、現下の造船不況が長期化することも想定しておく必要がある中で、“第二のコアビジネス”を一層強化することが、当社の経営安定化のため喫緊の課題と考えています。

このような事業環境のもと、当社は陸上事業とレジャー事業をそれぞれ営む子会社グループを統合し、M&Tグループ（Machinery & Technology Group、以下「M&TG」という。）として再編するとともに、同グループを統括・支援する会社として「サノヤスMTG株式会社」（以下「SMTG」という。）を設立することにより、“第二のコアビジネス”の一層の強化を図って参ります。SMTGは、M&TG各社と課題を共有し、従来当社が担ってきたM&TG各社のものづくり、安全推進、経営管理面の支援機能を引き継ぎ、さらに充実することにより、M&TG各社の技術開発、新製品開発、ITやシステム技術の導入等を含む、生産、販売、管理等、全ての面において支援を強化・拡充します。

2. 要旨

(1) スキーム

平成30年4月2日付で、造船以外の子会社グループをM&TGとするとともに当社の完全子会社としてSMTGを設立します。SMTG設立後、第二段階として、平成30年7月2日を効力発生日とする本会社分割を実施し、M&TG各社をSMTGの直接子会社とする体制へ移行します。



〈略称〉 造 船： サノヤ造船ほか
 陸 上 G： サノヤ建機、サノヤ・エンジニアリング、サノヤ精密工業、みづほ工業、美之賀機械、山田工業、大鑄、サノヤ・ビジネスパートナー、サノテック、サノヤ建物
 レジャーG： サノヤ・ライト、サノヤ・ライトサービス、サノヤ・ライト（オーストラリア）
 M&TG： 現在の陸上G、レジャーG各社

(2) 日程

SMTG設立	平成30年4月2日（予定）
会社分割決議取締役会	平成30年4月27日（予定）
会社分割契約締結	平成30年4月27日（予定）
会社分割契約承認株主総会	平成30年6月22日（予定）
会社分割効力発生	平成30年7月2日（予定）

(3) 会社分割の方式及び割当ての内容

当社を分割会社とし、SMTGを承継会社とする吸収分割で、承継会社が分割に際して発行する株式200株のすべてを当社に割り当てる分社型（物的）分割です。

(4) 会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社は新株予約権を発行しておりますが、この取扱いについての変更はありません。

(5) 会社分割により増減する資本金

本会社分割により当社の資本金の額に変更はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

承継会社は、吸収分割計画に基づき、本会社分割の効力発生日に当社のM&TG各社の統括事業に関する資産及びこれに関する権利義務を承継します。

(7) 承継会社の債務履行の見込み

本会社分割において、承継会社が当社から承継する債務及び雇用関係はありません。

3. 当事会社の概要

(1) 新設子会社の概要（平成30年4月2日予定）

(1)名称	サノヤスMTG株式会社
(2)所在地	大阪市北区中之島三丁目3番23号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 上田 孝
(4)事業内容	駐車装置、建設機械、遊戯機械、化粧品製造用乳化装置、産業用機械部品の製造販売及び各種設備工事業等を行う関係会社に関する経営管理を主な業務とする統括事業
(5)資本金	10百万円
(6)設立年月日	平成30年4月2日
(7)発行済株式数	200株
(8)決算期	3月
(9)大株主及び持株比率	サノヤスホールディングス株式会社 100%

(2) 本会社分割の当事会社の概要（平成30年6月22日予定）

	分割会社	承継会社
(1)名称	サノヤスホールディングス株式会社	サノヤスMTG株式会社
(2)所在地	大阪市北区中之島三丁目3番23号	大阪市北区中之島三丁目3番23号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 上田 孝	代表取締役社長 上田 孝
(4)事業内容	船舶の建造及び修繕、駐車装置、建設機械、遊戯機械、化粧品製造用乳化装置、産業用機械部品の製造販売及び各種設備工事業等を行う企業グループの経営管理並びにこれらに附帯する業務	駐車装置、建設機械、遊戯機械、化粧品製造用乳化装置、産業用機械部品の製造販売及び各種設備工事業等を行う関係会社に関する経営管理を主な業務とする統括事業
(5)資本金	2,538百万円	10百万円
(6)設立年月日	平成23年10月3日	平成30年4月2日（予定）
(7)発行済株式数	32,600,600株	200株
(8)決算期	3月	3月
(9)大株主及び持株比率	（平成29年3月31日現在） サノヤス共栄会 9.50% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（三井住友信託銀行再信託分・住友重機械工業株式会社退職給付信託口） 6.58% 株式会社三井住友銀行 4.37% ストラクス株式会社 4.30% 三井住友海上火災保険株式会社 3.45%	（平成30年4月2日予定） サノヤスホールディングス株式会社 100%
(10)直前事業年度の財政状態及び経営成績	（平成29年3月期連結） 純資産 17,349百万円 総資産 70,562百万円 1株当たり純資産 532円02銭 売上高 53,064百万円 営業利益 904百万円 経常利益 863百万円 親会社株主に帰属する当期純損失 △2,446百万円 1株当たり当期純損失 △75円11銭	—

4. 分割する事業の概要

(1) 分割する事業の内容

駐車装置、建設機械、遊戯機械、化粧品製造用乳化装置、産業用機械部品の製造販売及び各種設備工事業等を行う子会社に関する経営管理を主な業務とする統括事業を分割します。

(2) 分割する事業の経営成績

記載事項はありません。

(3) 分割する資産、負債の項目及び金額（平成29年3月31日現在）

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額（百万円）	項 目	帳簿価額（百万円）
関係会社株式	13,825	—	—
計	13,825	計	—

5. 会社分割後の状況

(1) 会社分割後の上場会社の状況

当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期については上記「3. (2) 本会社分割の当事会社の概要」に記載の内容から変更はありません。

(2) 会社分割後の承継会社の状況（平成30年7月2日予定）

(1)名称	サノヤスMTG株式会社
(2)所在地	大阪市北区中之島三丁目3番23号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 上田 孝
(4)事業内容	駐車装置、建設機械、遊戯機械、化粧品製造用乳化装置、産業用機械部品の製造販売及び各種設備工事業等を行う子会社に関する経営管理を主な業務とする統括事業
(5)資本金	10百万円
(6)設立年月日	平成30年4月2日
(7)発行済株式数	400 株
(8)決算期	3 月
(9)大株主及び持株比率	サノヤスホールディングス株式会社 100%

6. 今後の見通し

本会社分割による当社連結及び単体業績への影響はありません。なお、平成31年3月期第1四半期決算発表（平成30年7月31日予定）より変更後の事業セグメントを用いて業績の発表を行います。

以上

(参考) 当期連結業績予想及び前期連結実績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成30年3月期(予想)	47,000	300	200	100	3.07
平成29年3月期	53,064	904	863	△2,446	△75.11